



議会だより

2019

よしか

第50号



しめなわづくり



木部谷保育所の園児たち

- | | | | |
|-------------------------|-----------|-----------------|---------|
| ▶年頭のあいさつ・第4回定例会・主な議案…2頁 | ▶一般質問 | …10~13頁 | |
| ▶同意案件・一般会計補正予算・主な概要…3頁 | ▶発議・陳情・要望 | …13頁 | |
| ▶主な質疑 | …4~5頁 | ▶議員研修報告 | …14~15頁 |
| ▶全員協議会・臨時会 | …6~8頁 | ▶最近の主な議会動向・編集後記 | …16頁 |
| ▶議決結果表 | …9頁 | | |

同意案件

教育委員会教育長、教育委員の任命が全会一致で同意されました



教育長 光長 勉氏

任期：平成30年11月1日
～平成33年10月31日



教育委員 椿 幸子氏

任期：平成30年11月12日
～平成34年11月11日

【平成30年度一般会計補正予算（第5号）】

補正予算額	32,032千円
補正後の予算総額	6,752,978千円

主な概要

【歳入】

(単位:千円)

款	項目等	予算額	備考
地方交付税	地方交付税	26,847	普通交付税 16,847千円 特別交付税 10,000千円
県支出金	教育費県補助金	5,571	サクラマス交流センター運営にかかる補助金
繰入金	ふるさと創生基金繰入金	△6,393	
町債	過疎債	△6,100	町道新設改良単独事業 柿木地区多目的トイレ整備事業
	合併特例事業債	10,400	町道新設改良単独整備事業
	消防債	△6,000	防災設備等整備事業

【歳出】

(単位:千円)

款	事業名等	予算額	備考
総務費	企業誘致事業費	5,000	町が立地認定を行った企業の設備に対する補助金
民生費	自立支援給付事業費	12,001	障がい者介護・訓練給付費等
農林水産業費	ブランド化推進事業費	680	町ロゴマークの商標出願経費
商工費	観光施設管理費	4,583	温泉施設の実態調査・事業分析及び今後の方向性の提示等
教育費	事務局総務費	5,828	蔵木中・六日市中統合経費及び蔵木中閉校記念事業に対する補助金

主 な 質 疑

訴えの提起について

修学資金返還、医療従事者等確保対策給付金、水道料金の支払いを求める訴訟

河村(申議員)

◆ 地域経済は疲弊している。今後もこのような事が多発する懸念がある。はじめとしてきちっとした方針を出すよう求める。

【町長】

こうした事になる要因は経済がうまくまわっていないという事もあり、施策の面で反映できるようにする。

桜下議員

◆ 75万円の未納者が5人いるが全く返還はされていないのか。

【保健福祉課長】

返還はされていない。

三浦議員

◆ 連帯保証人もついているが、支払いできない理由はどのようなことか。

【総務課長】

生活が苦しいというだけでは納得出来ない。連帯保証人についての連絡等は最近開始した。

桑原議員

◆ 訴えることになった事案に対して関係する法人にも報告した方がよいのではないか。

【町長】

状況は報告するよつに努める。

吉賀町長等の給与等に関する条例の一部改正

反対討論

藤升議員

◆ 31年度予算編成が大変厳しい。町長等については、引き上げるべきでない。

庭田議員

◆ 近隣町村、同規模自治体との

比較や人事院勧告で決める姿勢は改めるべきである。

給与が高いとは思っていないが、額に汗するものが、報われるルール作りをすべきである。

河村(申議員)

◆ 消費税増税、高齢者世帯の厳しい現状がある。町の歳出が増加していく中、町民の理解が得られない。

吉賀町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

大庭議員

◆ 地方公務員の給与の決定に関する諸原則がある。その中に近隣の状況をみて判断するとあるが、それは行っているのか。

【町長】

客観的な数値指標、物差しがない。県の人事委員会の勧告、県内各市町村の対応を総合的に勘案して、同じような内容で提案している。

大多和議員

◆ 町内の景気がよいとは思えない。せめて12月からの適用ということにはならないか。

【総務課長】

人事院勧告に従い30年4月1日に、さかのぼっている。

反対討論

大庭議員

◆ 町内事業所の経営は厳しい。また、年金受給者の生活も同様である。

町財政も年々厳しく、給与を上げていくことは、貧富の格差をますます助長することにつながる。住民感情として理解がでない。

賛成討論

藤升議員

◆ 人事院勧告の給料表は、当町では6級までしか適用がなく、低い段階に抑えられている。

職員の仕事に対するモチベーションを促すためにも引き上げは必要である。



七日市浄水場

平成30年度吉賀町水道事業会計補正予算（第1号）

庭田議員

◆ 水道法の改正で[※]コンセッション方式が導入された。他の市町村と検討していくよ
うな事はあるのか。

【建設水道課長】

水道法改正前から水道の連携に関する検討会を行ってきたが、益田管内のように山を越えて市町村が存在する中山間地では、統合すると逆に経費が上がり統合メリットがない。

28年から続いてきた検討会が30年で結論を出すので、連携の在り方を示す事ができる。

※コンセッション方式とは

利用料金の徴収を行う公共施設について、施設の所有権を公共主体が有したまま、施設の運営権を民間事業者に設定する方式。

平成30年度吉賀町国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）

藤升議員

◆ 人件費で時間外手当が27万6,000円とあるが、当初10%とみていて今回で16%相当となる

が、この引き上げ分の説明を求めらる。

【保健福祉課長】

今年度、都道府県への一元化で、移行後に伴う保険税等の見直し作業が発生、年明けから3月まで療養給付費、負担金の変更交付申請事務等、国保業務の中で多忙をきわめる時期となり、今回、時間外手当の増額をした。

平成30年度吉賀町一般会計補正予算（第5号）

河村（隆）議員

◆ ゆ・ら・ら、はとの湯荘にコ
ンサルタントを入れてどのよう
な調査をするのか。

【企画課長】

今回は経営というよりは事業分析であり、中心となるのは更新施設の計画である。

松陰議員

◆ ブランド推進事業費は商標登録料か。

水とすむまち
吉賀町



ブランドロゴマーク

【産業課長】

登録料で、10年間有効である。

中田議員

◆ 生活バス路線の確保対策事業補助金はどこに払うのか。

【企画課長】

町内及び六日市日原線のバス運行事業者を支払う補助金である。

料金収入だけでは賄えない部分を町が負担する。

平成30年

第10回全員協議会

【10月18日】

◎議題

- ・吉賀町総合戦略について
- ・吉賀町健康増進交流促進施設むいかいち温泉ゆ・ら・らについて
- ・蔵木・六日市中統合準備委員会報告について
- ・平成41年第84回国民体育大会の島根県招致について
- ・町道重則親迫線にかかる土地所有権確認等請求上告受理申立事件の経過について

【主な議題】

むいかいち温泉「ゆ・ら・ら」について

(内容)

平成30年12月1日から平成31年3月31日までの4カ月間管理者を(株)サンエムに指定する。

管理料

税込1千998万7560円

主な質疑

大多和議員

◆ 4カ月で休暇村サービスの一年間の指定管理料を上まわる金額である。こんなことが許されるのか。

【町長】

冬場は温泉施設にとつて経営的に厳しい時期である。前例を参考に試算をさせてもらった。

平成30年
第6回臨時会

【10月18日】

◎議案

- ・請負契約の変更について
- ・吉賀町健康増進交流促進施設六日市温泉ゆ・ら・らの指定管理者の指定について
- ・平成30年度吉賀町一般会計補正予算(第4号)

◎同意

- ・教育委員会委員の任命同意
- ・教育委員会教育長の任命同意

【主な議案】

「ゆ・ら・ら」の指定管理者の指定について

(内容)

指定管理者の名称
(株)サンエム
期間 平成30年12月1日から平成31年3月31日の4カ月間

主な質疑

松蔭議員

◆ サンエムは町が筆頭株主の第三セクターである。なれあいにならないか。

【町長】

4カ月間だけであり31年4月以降の管理者は再公募して決める。

河村(由)議員

◆ これ以上の財政支援はしないと約束できるか。

【町長】

あくまでリスク分拍表にそつて両者で協議していく。

〈全員賛成可決〉

平成30年

第7回臨時会

【11月7日】

◎議案

請負契約の締結について

(内容)

障がい者総合支援センター「よしかの里」建築工事
契約金額
3億7551万6千円

主な質疑

桜下議員

◆ 街中の工事である、安全に十分な配慮をするべきである。

【保健福祉課長】

住民説明会で、ていねいに説明する。

〈全員賛成可決〉

平成30年
第11回全員協議会

【12月3日】

◎議題

- ・ 柿木バス停留所トイレ建設工事について
- ・ 私債権等取立訴訟について
- ・ 朝倉保育所の今後の方向について
- ・ ブランドロゴマーク及び地域商社の検討経緯について

【主な議題】

朝倉保育所の方向性について

(内容)

前回示した平成31年4月1日の状況予測より、増加の方向にあり、入所児の積み上げは期待できるので運営を継続する方向としたもの。

主な質疑

三浦議員

◆ このような状況にいたったのは保護者、地域、住民と行政の情報の共有が十分でなかったか



朝倉保育所

らではないか。
【保健福祉課長】

住民説明会を開いて以降、地域に保育所を残そうという機運が高まりいろいろな動きがでてきた。

今後は情報公開などを積極的に行っていきたい。

藤升議員

◆ 地域外の保育所を選択された保護者のニーズ調査はされたのか。

【保健福祉課長】

兄弟が利用しているから、自宅が近いから、環境がいいからなどであった。

平成30年
第12回全員協議会

【12月7日】

【議題】

吉賀町障がい者総合支援センター「よしかの里」建設工事

(内容)

建設現場内に布設されていた「ゆ・ら・ら」に給湯する配管の移設が必要になったため。

主な質疑

大庭議員

◆ 配管場所は把握できているので工事に支障はないとの説明であった。根拠のない説明だったのか。

【保健福祉課長】

詳細な配置図は残っていないか。判断は甘かったと思っっている。



工事中の障がい者総合支援センター

河村(隆)議員

◆ 配管の位置はこれで全て確認できたのか。これ以上でてくるようなことは許されない。

【保健福祉課長】

部分的に掘りおこして位置についてはほぼ確定しているという報告を受けている。

平成30年
第13回全員協議会

【12月14日】

【議題】

最高裁判所裁判官国民審査の投票等の保存について

(内容)

最高裁判所裁判官国民審査の
投票用紙は10年間の保存期間が
義務づけられているが、これを
守らずに廃棄していた。
主な質疑

松蔭議員

◆ 罰則はないのか。

【総務課長】
不適切な廃棄であるが罰則規
定はない。

平成30年 第8回臨時会

【12月28日】

◎議案

- ・吉賀町職員の給与に関する条
例の一部を改正する条例につ
いて
- ・平成30年度吉賀町水道事業会
計補正予算(第2号)
- ・平成30年度吉賀町国民健康保
険事業特別会計補正予算(第
4号)
- ・平成30年度吉賀町後期高齢者

医療保険事業特別会計補正予
算(第3号)

- ・平成30年度吉賀町介護保険事
業特別会計補正予算(第4号)
- ・平成30年度吉賀町小水力発電
事業特別会計補正予算(第4
号)

- ・平成30年度吉賀町下水道事業
特別会計補正予算(第4号)
- ・平成30年度吉賀町農業集落排
水事業特別会計補正予算(第
4号)
- ・平成30年度吉賀町一般会計補
正予算(第6号)

【主な議案】

職員の給与に関する条例の
一部改正

(内容)

12月定例会において、特別職
(町長等)と職員の給与の一部
引き上げを人事院勧告に従い行
うとした条例改正案が否決され
た。

この結果、特別職分は提出を
断念し、職員分について適用を
30年4月からを31年1月に変更

して引き上げるとする改正案を
臨時会に提出したものを。
主な質疑

大庭議員

◆ 都道府県全ての環境が違って
いるのに人事院勧告に準じて、
日本全国同じ給与でいいのか。

【町長】

地域の経済状況、官民の比較
などの物差しがない現状では人
事院や人事委員会の勧告に従う
しかない。

反対討論

庭田議員

地方創生により新しい町を作
ろうという時代である。職員の
給料が高いとは思っていないが、
汗を流す職員が報われる仕組み
を作るべきである。古い制度に
しがみついた平等という不平等
は改めるべきである。

松蔭議員

今、上げなければならぬ意
図が良くわからない。民間は努

力により報われる。住民との差
異がありすぎるのではないか。

河村(由)議員

町の景気は昨年より厳しいも
のがある。地方創生、総合戦略
など目に見える成果も乏しい。
12月議会で否決された議案が
2週間しかたっていないのに上
程された。町民の理解は得られ
ない。

賛成討論

大多和議員

支給基準日が30年4月から31
年1月に変更された。
公務員の給料は、人事院、人
事委員会の勧告を受け入れるべ
きである。

藤升議員

優秀な職員を採用し、町民の
ための行政を進めるためには、
人事院勧告による給与の引き上
げをしっかりと行うべきである。

〈賛成多数 可決〉

議案の議決結果

『議決結果表』

(議長は、可否同数の場合を除き採決に加わらない)

【全員賛成で可決した議案】

	議案番号	件名 (議案の内容)
第6回臨時会	議案第 86 号	吉賀町健康増進交流促進施設むいかいち温泉ゆ・ら・らの指定管理者の指定
	議案第 87 号	平成 30 年度吉賀町一般会計補正予算 (第 4 号)
	同意 16 号	教育委員会委員の任命同意…〔椿 幸子氏〕
	同意 17 号	教育委員会教育長の任命同意…〔光長 勉氏〕
第7回臨時会	議案第 88 号	請負契約の締結 (平成 30 年度吉賀町障がい者総合支援センター建築工事)
	議案第 89 号~第 97 号	訴えの提起
第4回定例会	議案第 100 号	吉賀町学校基金条例の一部改正
	議案第 101 号	吉賀町福祉センター条例の一部改正
	議案第 102 号	吉賀町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正
	議案第 103 号	平成 30 年度吉賀町水道事業会計補正予算 (第 1 号)
	議案第 106 号	平成 30 年度吉賀町介護保険事業特別会計補正予算 (第 3 号)
	議案第 107 号	平成 30 年度吉賀町小水力発電事業特別会計補正予算 (第 3 号)
	陳情 第 4 号	通称岡谷の改良工事について …【一部採択】

○ 賛成 ● 反対

	議案番号	件名	松蔭	三浦	桜下	桑原	中田	大多和	河村隆	大庭	河村由	庭田	藤升	可否	
第6回臨時会	議案第85号	請負契約の変更 (平成 29 年度真田グラウンド照明設備工事)	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	可	
	議案第98号	吉賀町長等の給与等に関する条例の一部改正	●	○	○	○	○	●	●	●	●	●	●	否	
第4回定例会	議案第99号	吉賀町職員の給与に関する条例の一部改正	●	○	○	○	○	●	●	●	●	●	○	否	
	議案第104号	平成 30 年度吉賀町国民健康保険事業特別会計補正予算 (第 3 号)	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可	
	議案第108号	平成 30 年度吉賀町下水道事業特別会計補正予算 (第 3 号)	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可	
	議案第109号	平成 30 年度吉賀町農業集落排水事業特別会計補正予算 (第 3 号)	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可	
	議案第110号	平成 30 年度吉賀町一般会計補正予算 (第 5 号)	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	可	
	発議 第 5 号	子どもと電子メディアに関する対策を求める意見書 (案)	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第111号	吉賀町職員の給与に関する条例の一部改正	●	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	可
第8回臨時会	議案第112号	平成 30 年度吉賀町水道事業会計補正予算 (第 2 号)	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	可	
	議案第113号	平成 30 年度吉賀町国民健康保険事業特別会計補正予算 (第 4 号)	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	可	
	議案第114号	平成 30 年度吉賀町後期高齢者医療保険事業特別会計補正予算 (第 3 号)	●	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	可	
	議案第115号	平成 30 年度吉賀町介護保険事業特別会計補正予算 (第 4 号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	可
	議案第116号	平成 30 年度吉賀町小水力発電事業特別会計補正予算 (第 4 号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	可
	議案第117号	平成 30 年度吉賀町下水道事業特別会計補正予算 (第 4 号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	可
	議案第118号	平成 30 年度吉賀町農業集落排水事業特別会計補正予算 (第 4 号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	可
議案第119号	平成 30 年度吉賀町一般会計補正予算 (第 6 号)	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	可	

吉高への就職支援について



中 田 元

質問 当町の子育て支援は全国でも有名であり、吉賀高校への支援も行っている。

卒業生の進路は、平成26年から平成30年の5年間で74%が進学をし、就職者は町外に24名、町内12名である。

町内の第一次産業に就職した場合すぐに現金収入が無く、親のすねかじりという事になるので、支度金50万円、月々5万円、2年間の支援を行なう事を提案する。

また、町外に就職・進学した生徒たちがUターンしたら同様に支援を考えたかどうか。

町長 現在吉高ではアントレプレナーシップ（起業家の精神）教育



を行なっている。

生徒自身が課題を発見し、アイデアを出し活用方法を考え、地域の問題として取り組んでいる。

平成31年度から内容のリニューアルを計画している。

提案の金銭的給付の意義や効果は理解するが、キャリア教育など内容の充実を図り、将来本町に貢献できる人材育成を強化することが必要と考えている。

社会増について



河 村 由美子

質問 当町の10月1日現在の人口は、前年度より32人の減少である。自然減が主な原因であるが、現状のままでは減少の一途で、歳入への影響は大きい。

人口増には企業誘致や、地場産業の振興によつて、この地で安定した生活基盤を構築することが必要である。中山間地の産業振興に最も効果上がる戦略について問う。

町長 31年までの総合戦略の評価指標の達成に向けて各事業の推進を行うと共に、課題と対策を洗い出し、新たな戦略を打ち出そうと考えている。産業振興による人口確保と農林業の振興、企業の雇用

環境の確保が重要なので、来年度予算では、地域商社等を設立し、活力ある町づくりを努める。

滞納と不能欠損をなくす努力を

質問 最近滞納額が増加し、中には不能欠損もある。監査委員の指摘事項にも、徴収強化期間を設け、滞納を続けている未納者への徴収に努力するよう指摘されている。

町長 従来にも増して公正、公平の観点から行政の基本的な姿勢として徴収に向けた努力を今後も続けたい。

今後の「ゆ・ら・ら」について



桜 下 善 博

質問 12月より町の第三セクター「サンエム」への指定管理により、「ゆ・ら・ら」が再オープンしているが、利用者が増えない限り運営は厳しいものと予想される。

この度の補正予算で「ゆ・ら・ら」の、事業の分析、実態調査、更新設備調査、中期事業計画の策定など、調査費を計上し、「ゆ・ら・ら」の将来的な方向性、結論を導き出す予定だが、再オープン後の財務状況も出ていない時期での、将来的な方向性など検討するのは、時期尚早ではないか。

商工会、観光協会、自治会、公民館、老人クラブ、社協、婦人会等に行政が入り、専門

家も含め、官民挙げた検討委員会を立ち上げるべきではないか。

町長 4月以降の指定管理者を現在公募中で、今後の運営方針の判断をするために調査費を計上した。今回の調査は、機械の更新、収支の改善に主眼を置いている。

今後は吉賀町の看板施設でもあるので、施設の運営や、施設の期待することへのご意見を、幅広い皆様から頂く機会を設けるように努力したい。



自然災害に強い町づくりは



三浦 浩明

質問 近年各地で災害が起きており、本町でも将来的に河川、山、道路等の長年の劣化により、危険度の増す箇所は増えてくるのは必至で、住民に被害が及ばないよう事前の調査、工事、組織の立上げ等、自然災害に強い町づくり対策が必要ではないか。

町長 今回、土砂災害特別警戒区域の指定に向けた作業が進められており、緊急度の高いものから対策を講じた。また、自主防災組織化や防災訓練等実施しながら、町全体の総合的な防災力の向上に努める。

町内施設の今後の対策 町内施設の経年劣化により、今後の対策として新築、改修、解体の選択肢が考えられるが、人口構成、使用頻度、費用対効果等を勘案し財政に負担のかけられない対策が必要であるが、どのような計画で進めていくのか。

町長 公共施設の40%を縮減、施設の管理・更新に対して長寿命化や維持管理の効率化、保全費用の平準化、インフラ施設の長寿命化等、計画的な対応をし、個別施設は平成32年度までに長寿命化、廃止等の踏込んだ管理計画の策定を予定している。

産業振興の進捗状況、吉賀町の宣伝



松蔭 茂

質問 現在、サフラン、ラッキョウ、茶、米のブランド化の4事業を進めているが、その現状と今後の見通しは。4事業以外に工業的なものは考えていないか。地域商社の進捗状況はどうなっているか。全国的に吉賀町を知ってもらうために吉賀町の「色」を決めてはどうか。

町長 米は、「米・食味分析鑑定コンクール」において国際部門で特別優秀賞、都道府県代表部門で金賞を受賞した。茶は、煎茶、紅茶等を販売しており、販売額も増えている。サフランは、キヌヤ本店、萩・石見空港等

で販売している。ラッキョウは、農協の六日市加工所のラッキョウ漬けが人気があり、販路先も広がっている。2年後に向けて、栽培に協力してもらおう農家を募集して生産拡大をしていく。工業的なものとして、木工も考えている。素材である木材を加工、製品にすることによって価値が上がり、講演会等、開催していく。地域商社設立は、人材不足、推進主体の問題があるが、31年度準備室、32年度に設立する予定である。

「色」については、町のイメージにつながると思う。

町の機構改革を



大多和 安一

質問 人口減や交付税の縮小に伴い、役場の体制も見直しの時期だ。

六日市と柿木に庁舎が分断されており、維持費のことも踏まえ非効率だ。

柿木庁舎の建設水道課と産業課を六日市に集約し、柿木を総合支所とし、公民館・図書館等を集約する。

周辺の道の駅から産直市場までの施設を一体利用し、町民の集える場所としてはどうか。

工事等の検査・監督及び図面管理を担う担当課を新設してはどうか。

何時までも合併時の協議にこだわり、経費の無駄使いをやめないか。

と、町の存続が危ぶまれるが。

町長 合併協議で決定した経緯がある。機構改革については、慎重に検討を要するので、現段階ではその考えはない。

自治会館と集会所について

質問 集会所が町有地に建設されている場合、地元自治会が町に使用料を支払い、維持管理費も負担している。自治会館は全て町が負担し、地元負担が無いが。

町長 自治会館と集会所については、合併以前の管理の違いで発生したことである。

サービス低下させない事務効率化を



藤 升 正 夫

質問 住民サービスを低下させないで事務の効率化を図り、事務量を減し経費削減を行うことを進める体制整備を求める。

質問 経費を指定管理料とは別に、介護予防事業などにより手当てすることについて聞く。

町長 事務効率化と経費削減について、まだまだ不十分なところがある。と認識している。職員一人ひとりが常に問題意識を持ち、役場全体として取り組みを進めるように、庁議等様々な場面で共通認識を図り、全職員全部署のレベルアップに向けて努力する。

温泉プールの活用を

質問 温泉プールを活用した水中運動事業の、介護・医療保険への貢献度と、プール部門の

町長 水中運動教室の年間延べ利用者数は、1400人から1600人で推移している。高齢者の身体の機能改善、機能維持だけでなく、心身の健康や社会参加の促進にも大きな役割を果たしていることを考えれば、介護医療保険への貢献度は大きなものだったと考えている。

質問 経費については、介護保険事業計画に大きな影響が及ぶため、慎重な検討が必要と考え

防災について



大 庭 澄 人

質問 鹿足河内川に水位計設置計画のその後

質問 鹿足河内川に水位計設置には警報を知らせるサイレンも同時設置が必要と考える。高津川上流部の河川敷に竹や木々が生い茂っており、早急に対応をすべきでは。そして町内各地の危険箇所の把握はどのようになっているか。

町長 今年度中、六日市橋に水位計が設置されるが、サイレンを吹鳴させる機能はない。

質問 農業水路等長寿命化・防災減災事業の地元負担15%を、特別な事情を町長が認めれば減額、あるいは負担なしとする特別な事情とは。

町長 町の防災行政無線の更新時に、サイレンの吹鳴も含め、対象地域住民に情報伝達できる仕組みを検討する。

町長 町民の利益を考慮した結果、負担を求める事にそぐわない場合という事である。

高津川の樹林化、堆積物は非常に危険であ

利便性の向上について



河 村 隆 行

質問 9月議会でも、質問したが石見交通広益線の高速便から吉賀町内では、路線バスとして運行してもらい、バスに乗り、利用して残す。そのためには利便性も良い、このことを早急に実施すること。それが町民よし 事業者よし 町もよしにつながると思うが。

町長 次バス停だが、柿木商工会前には、待合所もトイレもなく、近くに駐車場もない。道の駅にすると、利便性も良いのではと思うが。

町長 石見交通と具体的な協議を行ったが、いろいろ課題があ



柿木商工会前のバス停留所

新教育長として、教育行政に携わる心構えは



桑原 三平

質問 学力向上、スポーツ振興による能力向上、発達障がい児等多様な児童生徒、公民館の充実、幼児教育や社会教育において他課との連携等の取り組みについて、振興計画にかかわらず長としての心構えを聞く。

体と協力して取り組む。乳幼児の段階から発達障がいの早期発見や適切な支援のため、保育所や学校等関係機関との連携した取り組みを実施したい。

公民館のあり方について、現在企画課と担当者レベルで検討をしている。これまでの社会教育に限定した公民館でなく、地域の活性化を目指してあり方を考えたい。委員会単独で取り組めない課題は、横の連携を密にして取り組んでいきたい。

教育は計画通りに進まないことが多くある。家庭を含めいろいろな問題の一つひとつ丁寧に対応し、財政的な面においても取り組みは必要である。

教育長 教育に関する基本的な方針は、町の教育大綱と教育振興計画によると考えている。学力向上取組支援チームにより一人ひとりに指導、支援が効果的に行われるように派遣指導主事を中心に取り組みをする。

現存の施設を維持しながら体力向上や交流が図られるよう、スポーツ推進委員や団

小農を育てる政策を



庭田 英明

質問 定住対策は保育料、給食費、医療費の無償化などだけで解決出来る問題ではない。環境を守り、命を大切にすべしである。有機農業推進協議会への積極的な関わりが必要ではないか。

定住対策は保育料、給食費、医療費の無償化などだけで解決出来る問題ではない。環境を守り、命を大切にすべしである。有機農業推進協議会への積極的な関わりが必要ではないか。

町長 事業が前に進むように、しっかりと指示を出していく。

質問 小さな農業、農家を育てることは、定住や高齢者の生きがい対策などにも繋がっていく。農業公社、エポック、キヌヤのローカルブランド協力会など小農を支える組織への更なる支援が必要はないか。

町長 事業が前に進むように、しっかりと指示を出していく。

質問 小さな農業、農家を育てることは、定住や高齢者の生きがい対策などにも繋がっていく。農業公社、エポック、キヌヤのローカルブランド協力会など小農を支える組織への更なる支援が必要はないか。



【発議】

▼【発議第5号】

・子どもと電子メディアに関する対策を求める意見書(案)

○提出者 藤升 正夫

【理由】子どもの心身の発達における正しい電子メディアの影響を普及し、将来を担う子ども一人ひとりの成長を支えるため

○総務常任委員会付託審査

審査結果 (賛成多数可決)
本会議採決 (賛成多数可決)

【陳情】

▼【陳情第4号】

通称岡谷の改良工事について

○陳情者

広石自治会 会長 村田 辰範

【要旨】岡谷の改良を望むため

○経済常任委員会付託審査

審査結果 一部採択(全員賛成)
本会議採決 一部採択(全員賛成)

【要望】

▼【要望第2号】

六日市医療技術専門学校存続に向けてのお願い

○総務常任委員会付託審査

審査結果 継続審査

【理由】審査になお期間を要するため

議員研修報告

▼鹿足郡町村議会議員研修会

【開催日】平成30年10月12日

【場 所】六日市基幹集落センター

【研修内容】

「ICTを活用した議会運営」

全国の事例紹介とタブレットの操作
研修

講師 東京インタープレイ株式会社

米田 英輝 氏

【所感】

今後の議会運営のあり方について、時代の流れに沿ったシステムの活用や形成が必要とされる。



鹿足郡町村議会議員研修会

▼島根県町村議会議員研修会

【開催日】平成30年10月22日

【場 所】松江市タウンプラザしまね

【研修内容】

「飯綱町議会における議会改革の歩み」

講師 長野県飯綱町議会元議長

寺島 涉 氏

「防災・減災と議会の役割」

講師 防災システム研究所長

山村 武彦 氏

【所感】

議会の役割として、議会改革や防災・減災の取り組みを実践し、議会の役目と活性が必要とされる。



島根県町村議会議員研修会

▼吉賀町議会議員研修会

【開催日】平成30年11月12日～14日

【場 所】津和野町東京事務所

【研修内容】

「津和野町東京事務所における取組状況について」

講師 津和野町東京事務所次長

宮内 秀和 氏

【所感】

地元産物等のアピールにより、地元生産者等の活性化が図れる拠点づくりとして、重要な事務所である。



吉賀町議会議員研修会（津和野町東京事務所にて）



吉賀町議会議員研修会(竹下巨衆議院議員へ要望)

【場 所】

衆議院・参議院議員会館

「細田博之衆議院議員へ要望活動」

「竹下巨衆議院議員へ要望活動」

「青木一彦参議院議員へ要望活動」

「島田三郎参議院議員へ要望活動」

【所 感】

町議会の枠のみではなく、国や県との連携を密にすることが本町の発展にも繋がり必要な活動である。

【場 所】

全国町村議員会館

【研修内容】

「最近の町村議会をめぐる動き」

地方議会における議会改革について

講師 全国町村議会議長会事務局

議事調査部長

鈴木 毅 氏

【所 感】

全国の地方議会でも共通した問題を抱えている。将来の議会運営に対する議会改革等の措置を講じる必要性がある。

【場 所】 にはんばし島根館

《視察内容》

「にはんばし島根館視察」



全国町村議員会館にて

ようこそ、吉賀町議会へ

12月5日(水)に朝倉小学校の児童9名が引率の先生と一緒に、社会科の授業として、議場見学に訪問しました。

当日は、体験として議員席に座ってもらい、安永議長と水落局長が児童の質問に答えました。

子どもたちが町議会の働きや政治のしくみについて学習し、議会に少しでも関心を持つてもらえることは、大変嬉しいことです。



最近の主な議会動向

月日	用 途	出席者	月日	用 途	出席者
9月11日	第9回全員協議会	議 員	10月18日	第6回臨時会	議 員
9月13日	吉賀町交通安全対策協議会	議 長	10月22日 ～23日	島根県町村議会議員研修会（松江市）	議 員
9月13日	鹿足郡事務組合臨時会〔津和野町〕	組 合 議 員	10月29日	鹿足郡内一部事務組合定例議会（吉賀町・津和野町）	組 合 議 員
9月18日 ～27日	決算審査特別委員会	特 別 委 員 長 議 員	11月2日	真田グラウンド照明設備点灯式及び竣工記念事業	議 員
9月21日	経済常任委員会	経 済 委 員 長 議 員	11月3日	吉賀町功労者表彰式	議 員
9月26日	議員任意勉強会	議 員	11月7日	第7回臨時会	議 員
9月29日	輝けイレブンしまね町村フェスティバル(松江市)	議 長	11月7日	第6回議会活性化特別委員会	特 別 委 員 長 議 員
10月1日	広報広聴常任委員会	広 報 広 聴 委 員 長 議 員	11月12日 ～14日	吉賀町議会議員研修会〔東京都〕	議 員
10月2日	鹿足郡邑智郡町村会意見交換会(津和野町)	議 長	11月20日	山陰観光シンポジウム〔萩市〕	副 議 長
10月4日	第5回議会活性化特別委員会	特 別 委 員 長 議 員	11月21日	町村議会議長全国大会〔東京都〕	議 長
10月5日	広報広聴常任委員会	広 報 広 聴 委 員 長 議 員	11月26日	益田地区広域市町村圏事務組合定例議会(益田市)	組 合 議 員
10月9日	広報広聴常任委員会	広 報 広 聴 委 員 長 議 員	11月26日	吉賀町除雪会議	議 長 経 済 委 員 長
10月10日	行政視察受け入れ（北海道森町議会）	議 長	11月28日	経済常任委員会	経 済 委 員 長 議 員
10月11日	広報広聴常任委員会	広 報 広 聴 委 員 長 議 員	12月1日	東京吉賀会総会〔東京都〕	議 長
10月12日	鹿足郡町村議会議員研修会	議 員	12月3日	第11回全員協議会	議 員
10月14日	伊藤博子作品展オープニングセレニー	議 員	12月3日	議会運営委員会	議 運 委 員 長 議 員
10月16日	経済常任委員会	経 済 委 員 長 議 員	12月4日	鹿足郡事務組合臨時議会〔津和野町〕	組 合 議 員
10月16日	議会運営委員会	議 運 委 員 長 議 員	12月6日	第7回議会活性化特別委員会	特 別 委 員 長 議 員
10月18日	第10回全員協議会	議 員	12月7日 ～14日	第4回定例会	議 員

編 集 後 記

新年を迎え、謹んで御祝詞を申し上げます。

昨年の漢字は、「災」の文字通り各地で自然災害により被害に遭われた方々がおられます。本町でも2月の大寒波に始まり、7月の西日本豪雨等ありましたが、幸い大きな被害からは避けられました。

今年は、暖冬との情報もありますが、春先までは油断のできない日々を送っていかねばならないところです。

さて、本年5月には平成から新しい元号となり、皆様共々これまでの平成時代を振り返りながら、わが国が未来永劫、平和で活気にあふれる国づくりを願うものです。

私達町議会においても、昨年より議会モニターを設置や吉賀町議会に関するアンケート調査により、今後の町政の活性化や町民皆様が安心・安全な生活を送れるよう共に話し合い、様々な問題解決や町の発展のため新しい町づくりの実践を試みるものです。

三浦 浩明